

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

名前が似ている病気～褐斑病・褐斑細菌病～

【褐斑病(*Corynespora cassiicola*)】



主に葉に発生する。淡褐色、円形の小さな斑点を生じ、病斑が拡大すると5～10mmの中央が灰褐色で輪紋のある不整形の斑点となる。下葉から上位葉へ伝染する。多湿条件下では、病斑上に黒褐色綿毛状のカビを生じる。施設では9～11月、4～6月に、露地では収穫開始時期に多く、急速に広がる。病原菌は被害残渣と共に土壌に残るか、資材に付着して越冬する。種子伝染や風による飛散でも伝染する。

【褐斑細菌病(*Xanthomonas cucurbitae*)】



主に葉に発生する。病斑は針頭大、水浸状の小斑点を生じ、やがて周囲が黄化する。のちに、葉脈に囲まれた角形、淡褐色の病斑となる。病斑部分は薄くなるが、穴が開くことは少ない。進行すると、葉枯症状や、縁枯症状を示す。種子または土壌の被害残渣が伝染源となる。降雨・灌水・結露などによって生じた水滴中に病斑内の細菌が混入し、飛散して気孔や水孔から感染する。

天敵導入されている方向け

防除チラシ掲載農薬は年間の通し回数をカウントしていません！  
ご自身の散布履歴に合わせて薬剤を検討してください！

IRAC	対象病害虫	薬剤名	予防	治療	希釈倍数	使用時期	回数	影響日数 スワルスキー
7	うどんこ病・褐斑病・菌核病・つる枯病・灰色かび病	ケンジャフロアブル	○	—	1500倍 (菌核病・灰色かび病: 1000～1500倍)	前日	4回	0日
29	アブラムシ類・コナジラミ類	ウララDF	—	—	アブラムシ類:2000～4000倍 コナジラミ類:2000倍	前日	3回	0日
U13 9	うどんこ病・灰色かび病	ショウチノスケフロアブル	○	○	2000倍	前日	2回	0日
28	アブラムシ類・コナジラミ類・アザミウマ類・ウリハムシ・ハダニ類・ウリナメカ	ベネビアOD	—	—	2000倍	前日	3回	0日

天敵未導入の方向け

IRAC	対象病害虫	薬剤名	予防	治療	希釈倍数	使用時期	回数	影響日数 スワルスキー
52	菌核病・炭疽病・つる枯病・灰色かび病	ミギワ10フロアブル	○	—	1000倍	前日	3回	0日
5	コナジラミ類・アザミウマ類・ハダニ類・ウリナメカ	ディアナSC	—	—	2500～5000倍 (コナジラミ類:2500倍)	前日	2回	14日↑
12	褐斑病・菌核病・灰色かび病	セイビアーフロアブル20	○	—	1000～1500倍 (褐斑病:1000倍)	前日	3回	0日
6	コナジラミ類・アザミウマ類・ハダニ類	アグリメック	—	—	500～1000倍	前日	2回	7日

対象病害虫によって希釈倍率が異なる場合があります。ラベルの確認をしてから使用してください。

新規殺虫剤

落ちる害虫、生きる益虫

エフィコン<sup>®</sup> SL

IRAC : 36

- ◆ 有効成分アクサリオンが害虫の行動を阻害
- ◆ 抵抗性害虫への優れた効果
- ◆ 有益昆虫に影響が少ない

きゅうり登録内容

コナジラミ類 1000倍 収穫前日まで 2回以内  
アブラムシ類は 1000～2000倍



酷暑に打ち克つ

ヒートインパクト



暑さに負けない“強さ”を引き出す

- ◆ 光合成機能の低下による収量減対策
- ◆ 果菜類の糖度・肥大不足に!

果菜類・葉菜類使用例  
1000倍 100ml/10a  
本葉展開後～収穫前 2～3回 葉面散布

